

氏名

木 村 隆 信

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博 乙 第 2211 号

学 位 授 与 の 日 付 平成 2 年 12 月 31 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 ラット同種心移植における血清中免疫抑制物質（ISS）及び NK 細胞活性の推移とその意義に関する研究

論 文 審 査 委 員 教授 寺本 滋 教授 赤木忠厚 教授 木村郁郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ラット心移植モデルを用いて、ISS と NK 活性の推移を拒絶反応の前後で測定した。F344 を donor, ACI を recipient とした移植心の平均生着日数は無処置対照群において、 9.5 ± 2.0 日であった。PGE₂ 投与群においては、 17.8 ± 6.1 日と無処置対照群に比し、有意の移植心生着延長効果を認めた。ISS は拒絶反応 4 日前より拒絶反応日にピークを認めた。NK 活性は無処置対照群において、平均拒絶日前後で術前に比し有意の高値を示したが、PGE₂ 投与群においては有意の高値を示さなかった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は心臓移植に関する研究であるが、ラットを用いて異所性に心臓移植を行い、血清中免疫抑制物質と NK 細胞活性の推移を拒絶反応の前後において検討した結果、移植心の生着に関する重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。